

山王地区の良いところ、問題点・課題点 ~そしてこれからの山王地区まちづくりへの提案~



良いところ・問題点・課題点

[道路・交通]

- ・狭い道路でも車の通行が多い。
(大型車が通る、車が通ると人がひとりも歩けない場所もある。)
- ・一方通行化により、車がスピードを出すことが懸念される。
- ・幹線道路への通り抜け道路となっている箇所がある。
- ・車にとって道路は狭いが、狭い道のよさ(山王らしさ)もある。
- ・道路が狭いことで、スピードも出せないから安全ではないか。

[幅員4m未満の道路]

- ・建物が更新され、壁面後退(セットバック)されても、道路としての役割を果たしていない。
- ・ある程度連続して壁面後退が進んでいるところでは、整備を進められないか。

[電柱]

- ・建物更新による壁面後退で道路にはみ出している箇所が見られる。道路幅員が減少し、交通に支障のある場所もある。

[駐輪]

- ・駅周辺での迷惑駐輪があいかわらず多い。

[防災・防犯]

- ・道が狭く、行き止まり道路も多くて、災害時は大変。対策が立つか心配。
- ・消火栓がなかなか見つからない。
- ・コンクリート塀など古びているところも見受けられる。災害時の危険性、避難時の障害とならないか。
- ・街灯が少ない。
- ・日中は人通りも少ない。
- ・空き地、空家が目立つ。

[環境]

- ・都会とは思えないほど、比較的多く残っている緑はこのまま大切にしたい。
- ・川島正次郎邸跡は、木が多く残っているので公園としてほしい。
- ・手入れのされていない緑も多い。

[開発]

- ・狭い道の奥でミニ開発が行われている。
- ・木を切られ、戸建ての小さな家が増えてきている。
- ・一区画が細分化され、小住宅が分立する。各々の住宅に駐車場があり、緑がなくなる。マンション反対の声を聞くが、緑化が進み、防災に強い街になるかもしれない。

[歴史・文化]

- ・富岡美術館のようなまちのシンボルが失われてしまった。
- ・古いまちなみと新しい建物がマッチしていない。
- ・昔から地域に伝わる坂の名称などの復活
- ・歴史的な痕跡のある碑などの調査

これからのまちづくりへの提案

- ・一方通行による交通体系の検討

- ・ドライバーに注意を喚起するような視覚的効果の検討
例：暗闇坂からの道など、歩行者帯の白線を反対側にも入れるなど

- ・まちづくり協議会が区と協力して該当者に申し入れる
- ・該当箇所の道路整備を区にお願いする

- ・特に移設により効果のある箇所をピックアップし、関係機関に申し入れる

- ・危険箇所の調査、危険箇所マップの作成
- ・各家庭における防災への備えを徹底

- ・街を明るくする運動
例：門灯を午後11時まで点ける

- ・空地の利用
例：緑の交換広場として緑の創出を図る

- ・「山王まちづくり憲章」の周知
- ・「山王まちづくり協定」の承認
- ・「地区計画制度」の導入

- ・歴史的資源の調査
例：まちづくりニュース等による紹介